

令和元年度第1回ギャンブル等依存症対策研究会 議事要旨

日時：令和元年6月25日（火）午後2時から4時10分

場所：府庁新別館北館4階 職員会議室8

出席委員：井上研究委員、木戸研究委員、村井専門委員、河本専門委員

関係部局：IR推進局

<議事>

1) 昨年度研究会のまとめと今年度の研究会について

*IR推進局より、昨年度の研究会での主な意見や今後の取組みについて説明

*引き続き、今年度の研究テーマについて確認、委員からの意見はなし

(研究テーマ)

- ①ギャンブル等依存症の実態把握
- ②事業者も参画する協議体のあり方
- ③IT技術を活用した先進的な依存症対策
- ④学術研究ネットワークのあり方

2) ①IT技術を活用した先進的な依存症対策について

*IR推進局から先進的な依存症対策研究のあり方について説明後、意見交換

(主な意見)

- ・ギャンブル依存症の有力な仮説として、消費のバランスを欠いてギャンブルにのめりこむことがあるため、IR内のカジノ以外のエリアにおける消費額などのデータも参考になる。
- ・デジタル情報だけでなく、従業員のインタビューなどのソフトな情報も必要。
- ・従業員にも主体的に研究に協力してもらう方がよい。例えば、警告の発し方の違いの研究について、従業員が参画し、現場で試すなど。

②学術ネットワークのあり方について

*IR推進局より、学術ネットワークのあり方について説明後、意見交換

(主な意見)

- ・データを共同利用できる機関とすることがのぞましい。

③事業者も参画する協議会のあり方

*次回以降の研究会のテーマとすることを確認。